

# あずま自主防災会設立式



## 備えれば怖くない 9月は

# 『防災月間』 です。

1923年9月1日に発生した関東大震災を教訓に防災意識を高めるために毎年9月1日を「防災の日」と定めています。またこの日に合わせ8月30日から9月5日を防災週間、9月を防災月間としています。全国でも発生している地震による被害や、水害などは私たちにあって決して他人ごとではありません。日頃から防災に対していかに意識して生活しているかがいざという時に命を救うことにつながります。皆さんもこの時期にもう一度地域で、また家庭でできることを考えてみてください。

### 自分たちに何ができる？

「防災意識が高ければ、死者は減る。」と言われていてます。行政の防災意識を高めていくことは当然ですが、住民皆さんの防災意識が高くなるのが、多くの命を救うことにつながります。近年起こっている災害からもわかるように、大規模な災害時にはまず、行政機関（市役所、

消防署、警察署など）への通報も困難となり、一番大事な家族でさえ連絡がとれません。また、交通機能や水道・電気などのライフラインなども寸断されます。

被災地となったその瞬間から、行政が対応し始めるまでの間に「何ができるのか？」「何をしたいへきか？」を平常時から考えていくことが大切です。

### 5ついついに備え自主防災組織

そこで市では、自主防災組織の設立や強化を推進しています。自主防災組織とは、普段から災害に対する予防策を考え、防災用品を備蓄したり、訓練などを行い、いざという災害時に初期活動を行うための組織です。徐々に市内各区や自治会単位などで、組織を設立されてきていますが、県の自主防災組織の組織率64.5%に対し、市の把握しています甲賀市の組織率は、17年度末で44.7%となっています。

### 災害に強い甲賀市へ

甲賀市で震度5強から震度6弱の地震が予想されている『東南海・南海地震』はいつ起こってもおかしくないと言われています。まずは個人が考え、次に家族で考え、そしてご近所さんと考え、防災に強いまちづくりを目指しましょう。



## 住宅用火災警報器の設置が義務化

消防法が改正され、住宅の火災警報器の設置が義務化されました。新築住宅は平成18年6月1日から、既存の住宅は平成23年6月1日から義務化されます。詳しくは甲賀市ホームページの消防・防災のコーナーもしくは、総務課総合防災係へお問い合わせください。

甲賀市ホームページアドレス  
<http://www.city.koka.shiga.jp>

※7月から防災関連のホームページへのリンクをしました。甲賀市のホームページのトップページ中「緊急情報」からご利用ください。

## 火災警報器の訪問販売に注意



# 注意

この住宅用火災警報器の設置義務化を契機として、訪問販売などでの強引な販売や不適切な価格で販売する業者に注意してください。

たとえば、消防職員や市職員を装ったり、「設置しなければ法律で罰せられます」と言って恐怖心をあおることや、「今なら安くなる」と言って特別価格を強調し、取付け費用を法外な価格で請求する場合があります。

また、法律改正により火災警報器の設置場所の点検と言ってサインを求め、それが契約書になっているケースなども考えられます。通常、価格は4,000円から9,000円程度が中心で、ホームセンターや量販店、小売店などでも販売しています。

「日本消防検定協会」が性能を確認した製品にはNSマークが入っていますので購入の目安にしてください。

なお訪問販売で不要に契約した場合、その内容を記載した書面を受け取った日から8日間はクーリング・オフができます。

このページの防災に関する問い合わせ  
総務課総合防災係 ☎65-0665 FAX 63-4554  
このページの消費生活に関する問い合わせ  
消費生活相談窓口(市民生活課生活交通係)  
■月曜日～金曜日 ■9:00～15:00 ☎65-0685 FAX 63-4582

## 災害図上訓練 = 「DIG」

7月号でも紹介しました「DIG(ディグ)」とは、ディザスター・イマジネーション(災害ゲーム(実技))の頭文字を取って作られた言葉で、「災害図上訓練」と訳します。参加者が地図上に防災に関する情報を書き込んでいき、それを基に災害時の対応を考える訓練です。この災害図上訓練(DIG)は、自分の住んでいる地域の地図で訓練を行うことから、日ごろ気づかなかった地域の防災対策が明らかになり、今後の防災活動に役立つと共に、参加者の防災意識が向上する訓練として近年注目されています。

全国、県内でも実施されており、甲賀市では、信楽町長野区米町内会や土山町東自主防災会、また甲南中学校でも訓練を実施されました。



▲土山町東自主防災会の訓練の様子



▶信楽町長野区米町町内会の訓練の様子

## 地域でDIG

## 家庭でDIG

### 「家庭でもDIGをやってみましょう」

DIG家庭バージョンとして、寝室の間取りや家具の配置、寝る位置などを簡単に書いて、就寝中に大地震が発生した想定のもと、寝室がどうなるのか書き込んでみてはいかがでしょうか？ たんすや本棚の転倒や、花瓶や窓ガラスの破片などを想像された場合、避難路は確保できていますでしょうか？靴、懐中電灯の準備は？ ぜひ、ご家庭でも一度実施してみてください。